

※以下の内容を記入し、**実験走行日から5日以内**に、メールに添付の上、事務局(challenge@rt-tsukuba.jp)までお送り下さい。この情報は、つくばチャレンジ 2014 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2014 第 8 回実験走行会 2014/ 11/ 14(金)

ロボット No.: 1423

ロボット名: Cartis

チーム名: 電気通信大学

記載責任者: 柴田 優弥

1 実験の目的(特に準備したことがあれば、それもお書き下さい。)

人発見をしながらの自律走行実験

2 実験の具体的内容と成果

2.1 実験の具体的内容

・人探索ありのロボットの自律走行

2.2 実験成果

・人探索に関しては、第1探索エリアで、探索対象を発見したが、第2、3エリアでは見つけることができなかった。

・自律走行では、走行を制御するモジュールが突然止まってしまった。

3 自律走行実験を行ったチームは以下にもお答え下さい。

3.1 自律走行の内容

人探索をしながらの自律走行実験

3.2 自律走行の結果(どこまで走れたか等)

・途中で障害物にぶつかり完走はできなかった。

3.3 残された課題

・探索人物の発見システムの精度向上

・正面の低段差の検知

・走行を制御するシステムが止まった原因を明らかにすること

3.4 失敗した理由

ロボットの前面に取り付けた縦振り URG では、ロボット正面の低段差の認識がしづらい

3.5 確認走行を行った場合は、その記録

3.6 記録走行を行った場合は、その記録

第一探索エリアを抜け、広場に向かうストレートで、障害物にぶつかり中止となった。

4.運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。